

研修報告

7月18日～20日、岐阜県 長良川国際会議場で開催された、日本アルコール関連問題学会に当院を代表して参加しました。ポスターセッションにて「A氏はなぜスリッパが止まったのか？」ARP「卒酒会」の取り組み」という題目で、A氏の卒酒の経過と、当院が実施するアルコールリハビリテーションプログラム（以下ARP）について発表しました。緊張しましたが、同伴したスタッフや、院長の助けもあり無事発表する事が出来ました。スリッパとはアルコール依存症から立ち直り回復するために断酒生活をしていながらも関わらず、一杯の酒に口をつけてしまうこと。すなわち再発の事です。

A氏は、現在卒酒して約1年が経過しました。「自分一人ではなく、繋がりが大事というのが、一年かけてやっと分かった」などと話し、「孤独から脱出」出来た事が、結果として卒酒に繋がったと思います。

現ARPの特色はホリスティックアプローチを導入している事です。ホリスティックとは全体的に人を捉える事。ボディ、マインド（心）、スピリットを含み、酒害への知識・教育以外でのアプローチです。現在は瞑想・呼吸・旅行・ハイキング・イオンカネーション・体力測定などを実施しています。旅行は平成24年から実施し、これまで小豆島、仙酔島に行きました。寝食を共にした事で、メンバーやスタッフ間の「仲間意識」や「絆」もより一層深まったと確信しています。

当院のARPはH16年から開始し毎年新しい取り組みを実践しています。今後も、一人でも多くの人が卒酒できるよう取り組んでいきます。（看護師 巴）

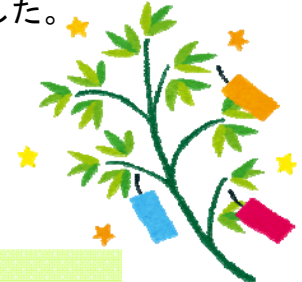


ハピネス城西
発行/医療法人 睦み会 城西病院
発行日 平成25年 9月 5日
月号、No. 4
〒770-0005 徳島県徳島市南矢三町3丁目11-23 Tel 088-631-0181
URL http://www.johsei-hp.jp/ E-mail johsei@johsei-hp.jp

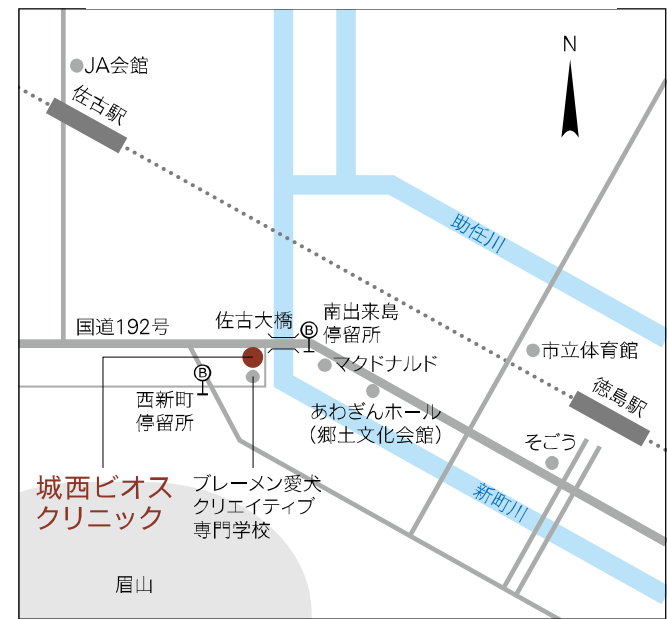
七夕祭り

7月3日(水)今年もみなさんが楽しみにしている七夕祭りが開催されました。

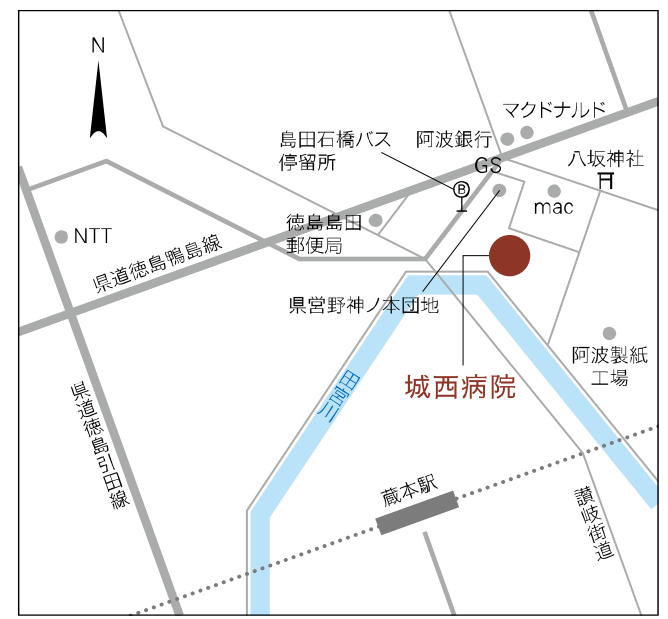
綺麗な合唱の歌声から始まり、毎年恒例のハンドベル！ドタバタ喜劇？激し過ぎるダンスパフォーマンスなど、各病棟の入院患者様とスタッフが協力して発表し、とても楽しい時間を過ごすことができました。



城西ビオスクリニック Tel 088-611-1160



城西病院 Tel 088-631-0181



作業療法室 リニューアル

4月より作業療法室スタッフルームがメインホール内に新しく改築され、お引越ししました！今までは川沿いの作業療法棟で病棟より離れていましたが、病院内に移動した事により、患者様や職員の方が気軽に部屋を訪れ、声を掛けていただく機会が多くなったように思います。お引越しと共に、今年度より院内行事の運営や病棟内でのお誕生会への参加など、作業療法の内容も変化し、今年度は挑戦の一年です！今後も色々な活動を提供しながらも、初心の「過ごしやすく、落ち着ける場所」を心がけ、患者様の回復のお手伝いをしていきたいと思ひます。



医療法人睦み会の
最も大切にしているもの
ロマン（理念）

心と身体を癒し続け
人生をより豊かなものとし
今を共に語り合い
支え合って生きる

基本方針

- 一 ほど良い医療と福祉を提供し、病める人にとってさら大切に生きていく
- 二 心の病は誰でもなりうる病気であることを忘れない
- 三 心の病は必ず治ることを信じ、スタッフ全員で取り組む
- 四 同じロマンをもつスタッフと一丸となって、共に高め合う
- 五 互いに支え合う共生社会を作り上げる

編集後記

広報誌をリニューアルして約一年となりました。広報担当者皆で意見を出し合い工夫しながら作成しています。ご意見等頂ければ幸いです。
編集担当者 島村、徳重、大道、多田、片山、森本、高田、廣谷、福原、前野、三宅、山田、水本、清水、柳川

家族教室ファミリー

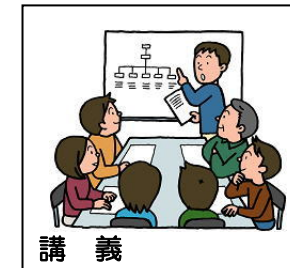
ファミリーという言葉は、ドイツ語で“家族”という意味です。
ご家族の皆様とスタッフのつながりを大切にしたい！という思いを込めて、名づけました

当院では平成19年度より、統合失調症のご家族を対象に、病気についての正しい知識や対処方法、利用できる社会資源などを知っていただくための「家族教室」を開催しています。

日時は毎月第3土曜日、13:30~15:30。前半に各専門スタッフによる講義があり、休憩をはさんで、後半にご家族同士が相談できる座談会を設けています。参加費は無料です。



医師による講義の様子



講義

病気・薬・関わり方など
一緒に学びましょう



休憩



座談会

情報交換と支えあいの場です

～平成25年度の講義内容(全7回:予定)～

- | | |
|--------------------------|-----------|
| 第1回(8月): 病気のしくみ | 【医師】 |
| 第2回(9月): 食生活と健康 | 【管理栄養士】 |
| 第3回(10月): 病気の経過と対処の工夫 | 【医師】 |
| 第4回(11月): 統合失調症の薬の作用と副作用 | 【薬剤師】 |
| 第5回(12月): リハビリの中にも楽しさを | 【作業療法士】 |
| 第6回(2月): 利用できる制度とサービス | 【精神保健福祉士】 |
| 第7回(3月): 家族の接し方 | 【臨床心理士】 |

おひとりで悩んでいませんか？

そして、ご自分を責めていませんか

誰にでも途方にくれる時があります。ファミリーでは、患者様ご本人と共にありながらご家族の皆様の生活が少しでも豊かになることを目指しています。これまでの開催では、「こういう話ができる場があった」「家族自身のリフレッシュになった」とのご感想を頂いています。ファミリースタッフ一同、ご家族のお力になりたい！そう思っています。

統合失調症の患者様をお持ちのご家族で、当院通院中・入院中、または城西ビオスクリニック通院中の方はどなたでもご参加いただけます。お気軽に主治医、お近くのスタッフにお声かけください。



認知症家族教室「学び舎」

認知症の方のご家族への支援の場、1つとなればと思い、昨年度より認知症家族教室「学び舎」を開催しています。家族教室とありますが、ご家族だけでなく、施設スタッフ、ケアマネージャー等、認知症の方、ご家族を支援している方々の参加も可能です。普段の関わりの中で、こんな時どうしたらいいのと悩み、対応に困った経験はありませんか？

「学び舎」では、認知症の正しい理解、「その人らしさ」を大切にしたいケアについて等、一緒に考え、参加してくださった皆様、来て良かった...。話せて良かった...。という場になればと思います。

★今までのテーマ★

- 「何故、同じことを何度も聞くの？」
- 「徘徊の理由。その対応は？」
- 「些細な事で怒るのは何故？」
- 「徘徊」
- 「対応に悩む症状は」
- 「認知症の人の感情」

次回開催日

十月五日土曜日 十三時三十分

テーマ「帰宅願望は何故起る？」

●問い合わせ先●
城西病院 地域連携室

開催：第一土曜日(偶数月)
時間：十三時三十分
場所：城西ビオスクリニック 四階ホール
講師：城西ビオスクリニック院長 植村桂次 医師

最初二〇分程は、テーマについて講師が話し、後半はフリータイムです。参加者全員で自由に話し合い、先生へ質問・相談等も適宜行っています。

昔の「寺子屋」のように、誰もが参加しやすい場。また来たいと思う場をイメージし「学び舎」と名づけました。お気軽にご参加ください。



今年6月に厚生労働省の研究班は、「2015年、認知症人口推計数は462万人」と発表。65歳以上の人の約15%、85歳以上の人の約40%と推定されている。内、約270万人が在宅有病者数であり、独居者は約43万人と分析されている。

また、認知症の予備軍と言われるMCI(軽度の認知障害)を含めると約800万人となる。

*右は、6月の新聞に掲載された記事です。こういった報告がある中、ますます、本人だけでなく、家族支援の場の必要性を感じます。